

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第21週の発生動向

トピックス

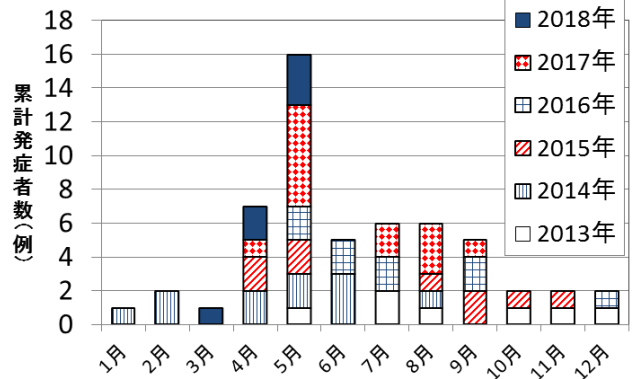
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が宮崎市からあった。患者は80歳代男性で、発症は5月中旬であり、ダニの刺し口は確認出来なかった。県内の報告は今年6例目で、累計55例(平成25年3月届出開始以降)となった。

県内のSFTS年齢別報告数(届出開始以降)

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	14	20	14	3

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



全数報告の感染症(21週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、レジオネラ症1例。
- 5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例、水痘(入院例)1例、百日咳13例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80歳代	男	肺結核	咳
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	80歳代	男	—	発熱、神経症状、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、出血傾向
	レジオネラ症	小林	60歳代	男	肺炎型	発熱、肺炎
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	都城	60歳代	女	—	尿路感染症、肺炎疑い
	水痘(入院例)	宮崎市	40歳代	男	検査診断例	発熱、発疹、ワクチン接種歴なし

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群			症状
				5~9歳	10歳代	40歳代	
5類	百日咳	宮崎市	2例		2		持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタック、ウーブ
		日南	5例	1	4		
		高鍋	6例	1	3	2	

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は987人(定点当たり29.8)で、前週比103%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はインフルエンザである。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【咽頭結膜熱】

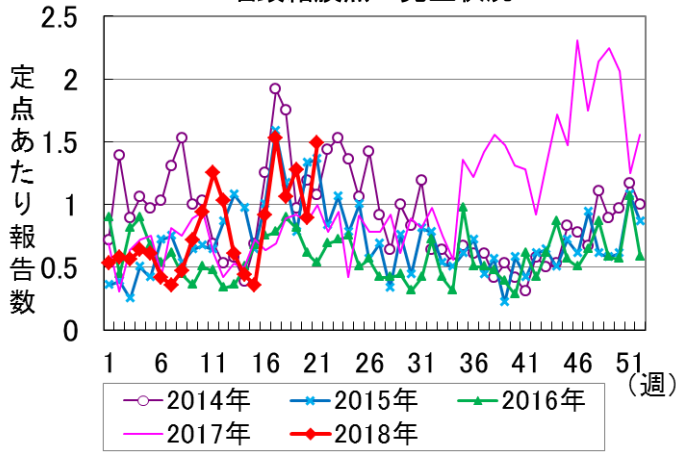
報告数は52人(1.5)で、前週比167%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(1.0)の約1.4倍である。中央(4.0)、延岡、日南(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳以下が全体の約7割を占めている。

【手足口病】

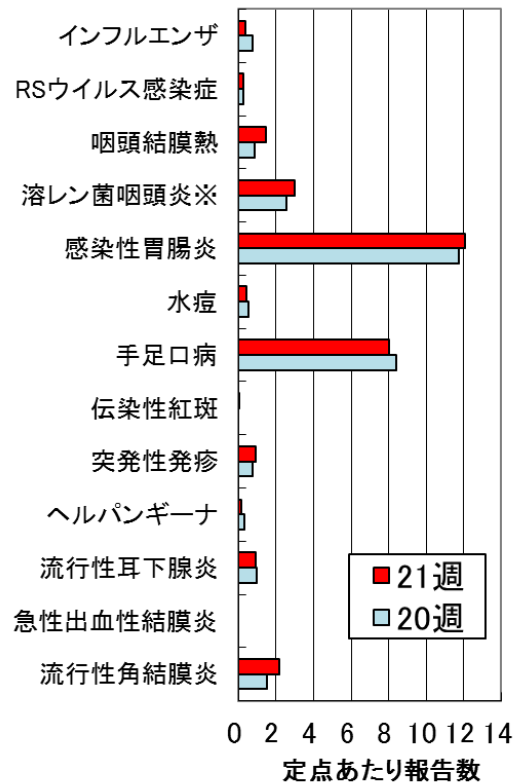
報告数は281人(8.0)で、前週比96%とほぼ横ばいであったが、例年同時期の定点当たり平均値*(1.8)の約4.4倍である。延岡(14.5)、小林(12.7)、日向(10.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~4歳が全体の約8割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

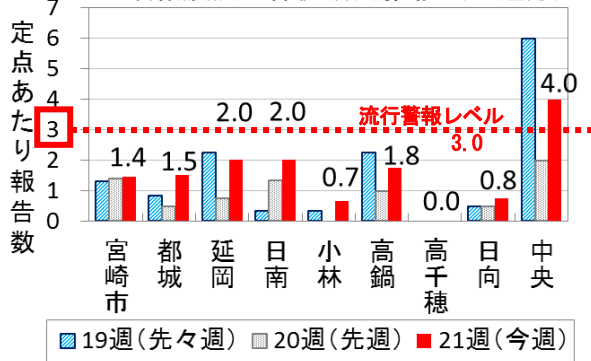
咽頭結膜熱 発生状況



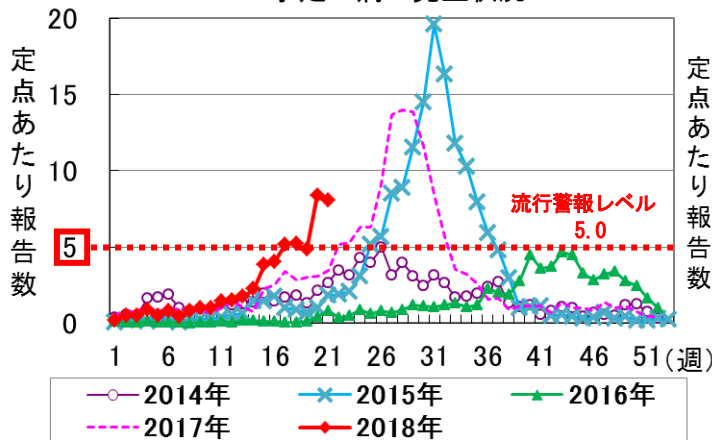
《前週との比較》



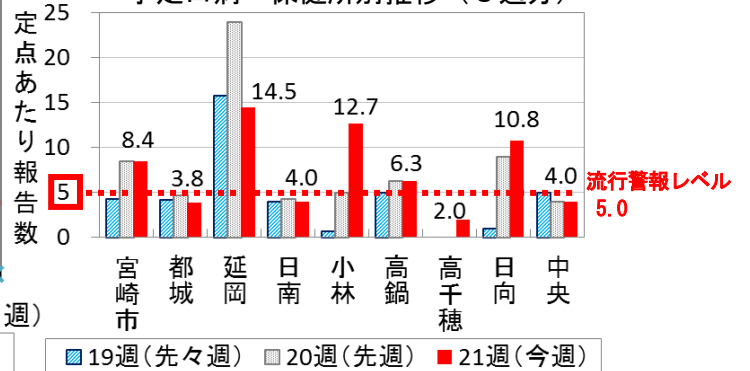
咽頭結膜熱 保健所別推移 (3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移 (3週分)



★基幹定点からの報告★
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(8.4)
都城	なし
延岡	手足口病(14.5)
日南	流行性耳下腺炎(9.3)
小林	手足口病(12.7)
高鍋	手足口病(6.3)
高千穂	なし
日向	手足口病(10.8)
中央	咽頭結膜熱(4.0)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(16.0)、 感染性胃腸炎(40.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

🇯🇵 全国 2018 年第 20 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 20 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	335 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	43 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E 型肝炎	6 例	A 型肝炎	28 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	つつが虫病	4 例	デング熱	8 例	日本紅斑熱	3 例
	レジオネラ症	48 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	15 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	14 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	7 例	クリプトスポリジウム症	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例	後天性免疫不全症候群	22 例
	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	侵襲性肺炎球菌感染症	73 例
	水痘（入院例）	4 例	梅毒	93 例	播種性クリプトコックス症	4 例
	破傷風	4 例	百日咳	134 例	風しん	5 例
	麻しん	16 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例		

麻しんの報告数は 16 例であった。福岡県（10 例）、大阪府、沖縄県（各 2 例）、千葉県、愛知県（各 1 例）から報告があり、20 歳代（6 例）、30 歳代（4 例）、10 歳未満（3 例）、10 歳代（2 例）、40 歳代（1 例）である。第 1 週から第 20 週までの累積報告数は 162 例となり、沖縄県（88 例）、愛知県（25 例）、福岡県（17 例）、東京都（11 例）が多い。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 108%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は手足口病と伝染性紅斑で、減少した主な疾患は水痘である。

R S ウイルス感染症の報告数は 951 人(0.30)で前週比 120%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.13)の約 2.3 倍である。沖縄県(1.9)、新潟県(1.1)、北海道(0.94)、福島県(0.90)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳以下が全体の約 7 割を占めている。

流行性角結膜炎の報告数は 766 人(1.1)で前週比 94%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.67)の約 1.6 倍である。新潟県、神奈川県(各 2.9)、熊本県(2.7)、福岡県(2.5)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳以下が全体の約 3 割を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2018年 第21週(05月21日～05月27日)

疾病名		第20週	第21週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	46	21	8	12		1					
	定点あたり	0.78	0.36	0.53	1.20	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	9	9	1	1	4					2	1
	定点あたり	0.25	0.26	0.11	0.17	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	1.00
咽頭結膜熱	報告数	32	52	13	9	8	6	2	7		3	4
	定点あたり	0.89	1.49	1.44	1.50	2.00	2.00	0.67	1.75	0.00	0.75	4.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	92	104	15	29	16	10	1	7	3	7	16
	定点あたり	2.56	2.97	1.67	4.83	4.00	3.33	0.33	1.75	3.00	1.75	16.00
感染性胃腸炎	報告数	422	422	61	100	18	43	51	45	18	46	40
	定点あたり	11.72	12.06	6.78	16.67	4.50	14.33	17.00	11.25	18.00	11.50	40.00
水痘	報告数	19	14	3	3	2	1		2		2	1
	定点あたり	0.53	0.40	0.33	0.50	0.50	0.33	0.00	0.50	0.00	0.50	1.00
手足口病	報告数	302	281	76	23	58	12	38	25	2	43	4
	定点あたり	8.39	8.03	8.44	3.83	14.50	4.00	12.67	6.25	2.00	10.75	4.00
伝染性紅斑	報告数		1									1
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	28	32	11		6	4	4	1		4	2
	定点あたり	0.78	0.91	1.22	0.00	1.50	1.33	1.33	0.25	0.00	1.00	2.00
ヘルパンギーナ	報告数	11	6	1		5						
	定点あたり	0.31	0.17	0.11	0.00	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	35	32	1	2		28				1	
	定点あたり	0.97	0.91	0.11	0.33	0.00	9.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	13	11		2						
	定点あたり	1.50	2.17	3.67	0.00	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～21週)

2類感染症	結核	73例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	21例	重症熱性血小板減少症候群	6例(1)
	つつが虫病	1例	日本紅斑熱	2例	レジオネラ症	4例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	7例(1)
	急性脳炎	5例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	19例
	水痘(入院例)	1例(1)	梅毒	1例	播種性クリプトコックス症	2例
	破傷風	2例	百日咳	120例(13)	風しん	1例

()内は今週届出分、再掲